

＜ 今日の説教のポイント ルカによる福音書 23 章 13-25 節 ＞

### 1 イエス様を何度も救おうとしたピラト。ピラトはいい人？

この個所を読んで誰でもまず思うのは、「ピラトは①イエス様に罪はないことを確信し、②必死に救おうとした。彼はいい人ではないのか」ということでしょう。ルカはまさにそのことを私たちに考えさせようとしているのです、「彼はいい人と言っていいのか」と。

### 2 扇動されてイエス様を死に追いやった民衆。彼らに罪はない？

ここには祭司長たちと議員たちに扇動された民衆（人々）が出て来ます。特に民衆がイエス様の死を激しく求める点においてはここが一番激しいように思います。「こんなに激しく民衆から非難されるからには、イエス様にも非があったのではないか」と思う人がいるかもしれません。しかし、ここで考えなければならない問題は、扇動された時に人はどうなるかです（カルヴァン）。法により「暴動と殺人のどが」で死刑判決が出ていたバラバを釈放せよと叫んだ時の民衆はもう支離滅裂です（恩赦の問題性）。扇動されておかしくなった人間が起こした残虐行為は過去の歴史に枚挙に遑がありません。

### 3 神様はなぜイエス様を助け出さず、見殺しにされたのか？

人間の罪（神から離れて生きる [原罪] 結果、起こしてしまう個々の罪）について深く重く考えさせられる今日の個所です。しかし、それで終わりではありません。なぜ神様は、そんな人間の罪の中に置かれたイエス様を助けようとはなさらなかったのでしょうか？ また、イエス様もなぜ言い返されず黙って十字架の死に向かって行かれたのでしょうか？ それがこの個所から考えなければならない問題です。罪とは何か？ 法律上の罪、つまり悪いと分かっていることをしてしまうこと？ それなら、悪いとは思っていなかったことは当てはまらない？ 否、イエス様はそれら全てのことによって殺されてしまいました。しかし同時に、あえてそれに向かって行って下さったのでもあります。つまり、私たちが犯す全ての罪がもたらす最も重い結果「死」を主イエスが負って下さり、そのことによって私たちの罪が神様の前に赦される道が開かれたのです！ 神様がそのために御子イエス・キリストをお送り下さったのです！ 私たちの思いを超えた神様の赦しをここに見ることができるのです（イザヤ書 53 章 4-5, 12 節）。